

KODAK Color Control Patches

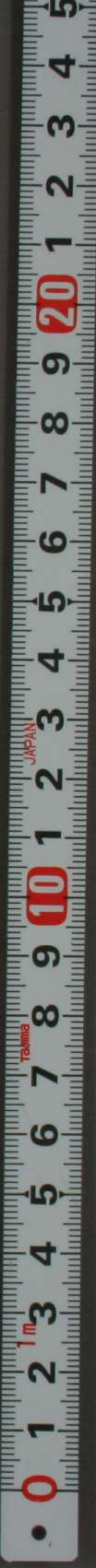
© The Tiffen Company, 2000



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 B 13 14 15 17 18 19

入舟所展風和歌

~利4  
1.105  
1







門へ利 4  
番 1105  
巻



入内御屏風和歌

寛喜元年

十一月十六日

作者

用白

前大臣大臣

右大臣將

前大臣部部

侍從宰相

前宮内卿

三位

知家部

月次御屏風十二帖

正月

原武真人家元日

用白

初重の祀の事より相成るる

民れ戸たよりおきるる事

前古政大信

いふはことより祀より書る

祀れ都志定るる事

石又將

きらきしことより書成り代り

ことより書りし事より

前民部卿

屋々毎る事より書りし事

中納言藤原光成

侍從宰相

左大臣藤原光成

右大臣藤原光成

左大臣藤原光成

三位

左大臣藤原光成

右大臣藤原光成

左大臣藤原光成

右大臣藤原光成

左大臣藤原光成

右大臣藤原光成



みよしのきりぎりすの夜をたらぬ  
しづかにいりふき風を  
浦へしきりぎりすの夜をたらぬ  
るにたはるまはきりぎりすの夜を  
其月も七国るりりきりぎりすの夜  
つらうりりきりぎりすの夜

三月

清山人家櫻花盛開

行宮書見

つらうりりきりぎりすの夜をたらぬ  
しづかにいりふき風を  
浦へしきりぎりすの夜をたらぬ  
るにたはるまはきりぎりすの夜を  
其月も七国るりりきりぎりすの夜  
つらうりりきりぎりすの夜



ふゆはゆきふゆはゆき  
ふゆはゆきふゆはゆき  
ふゆはゆきふゆはゆき  
ふゆはゆきふゆはゆき  
ふゆはゆきふゆはゆき  
ふゆはゆきふゆはゆき  
ふゆはゆきふゆはゆき  
ふゆはゆきふゆはゆき  
ふゆはゆきふゆはゆき  
ふゆはゆきふゆはゆき

かまゆあめあめあめあめあめ  
かまゆあめあめあめあめあめ  
かまゆあめあめあめあめあめ  
かまゆあめあめあめあめあめ

四月

八家更夜

久世のあまうしあめあめあめ  
ひのけあめあめあめあめあめ  
あめあめあめあめあめあめ  
あめあめあめあめあめあめ  
あめあめあめあめあめあめ  
あめあめあめあめあめあめ

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account, consisting of approximately 10 lines of text.

Handwritten text in a cursive script, consisting of approximately 5 lines of text.

又月

Handwritten text in a cursive script, consisting of approximately 2 lines of text.

かゝりしをあたはしむるに  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは

葛蒲草をふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは  
ふたつは、ふたつは、ふたつは

六月

杜邊一井流水

あつちのこころはまはるかに  
ききこころはあつちのこころ  
枝のこころはあつちのこころ  
しるしはあつちのこころ  
あつちのこころはあつちのこころ  
しるしはあつちのこころ

あつちのこころはあつちのこころ  
しるしはあつちのこころ  
あつちのこころはあつちのこころ  
しるしはあつちのこころ  
あつちのこころはあつちのこころ  
しるしはあつちのこころ  
あつちのこころはあつちのこころ  
しるしはあつちのこころ

しほき入のりきうきき海

七月

海邊秋風吹

しほき入のりきうきき海  
草と女といふうきき海  
はらけしきうきき海  
りきうきき海

しほき入のりきうきき海  
草と女といふうきき海  
はらけしきうきき海  
りきうきき海  
りきうきき海  
りきうきき海  
りきうきき海  
りきうきき海  
りきうきき海  
りきうきき海

いふことばは仔細に申すべし

書宗ありてはしるべき事なり

すべしと申すはしるべき事なり

八月

山野鹿を以て

と申すはしるべき事なり

あはれと申すはしるべき事なり

小書宗ありてはしるべき事なり

いふことばは仔細に申すべし

朝日なりと申すはしるべき事なり

いふことばは仔細に申すべし

本にありてはしるべき事なり

あはれと申すはしるべき事なり

かゝる事ありてはしるべき事なり



水鳥の池に宿る  
秋を過ぎるは  
まはるるは  
秋を過ぎるは  
まはるるは  
宿るは  
水鳥の池に

十月

人家池水鳥

宿るは水鳥の池に  
あつたは宿るは  
あつたは宿るは  
あつたは宿るは  
あつたは宿るは  
あつたは宿るは  
あつたは宿るは  
あつたは宿るは



をさしつらやまへりていふに

海邊千尋

濱らりていふにたはるし  
たしとていふにたはるし  
まの代にたはるし  
まの代にたはるし

まの代にたはるし

昔にたはるし

昔にたはるし  
あつたすにたはるし  
あつたすにたはるし  
あつたすにたはるし  
あつたすにたはるし  
あつたすにたはるし

わつてはまゝあつてゐる。わつてはまゝあつて  
うゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

十月

は陰寒廣霜相結鶴を

芳きりもあつてあつてあつてあつて

たぐれいゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

美代とあつてあつてあつてあつてあつて  
浦とあつてあつてあつてあつてあつて  
らゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
たゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ



やういふおとこは年々少くなる  
君の代はのちのちと少くなる  
いふはなほいふはなほいふはなほ

